

開會の辭

提 良 明

唯今より日本海員組合の發會式を舉行致します。昨日來の雨天に係らず多數來賓並に組合員諸君の御來臨を辱うしたるは創立實行委員一同の深く感謝致すところでありませぬ。

現今世界の大勢を見るに歐洲戰亂の影響は各國其政治經濟思想等のあらゆる問題につき大變化を來して居ります。

就中勞働問題の如き稍もすれば國家の存立に迄影響を及ぼさんとする傾向を有して居りますから此問題は單に勞働者のみならず、各國民の一日も等閑に附すべからざる重大問題なりと考へます。

況んや我國の如き該問題に就き未だ幼稚の域に在るところに於てをや。

即陸上たると海上たるとを問はず勞働者の精神の修養智識の啓發生活の安定健康の保持等に就いては獨り

創立經過報告

創立副委員長 龜 井 司

諸君私は此の意義ある發會式に於て其創立の經過報告の任を申付かつた事を光榮と存する次第であります。昨年の六月セノアに於て開催せられたる第二回國際勞働會議に吾が海員を代表せられたる岡崎憲氏外一行が歸朝後各團體の有志諸君と屢々協議の結果昨年十二月三日及び四日に互り當市湊川神戸美術俱樂部の階上に於て第一回創立協議大會を開催致しまして當日出席せし團體と其の代表者代理者として出席致しましたのは、

- 海員博濟會代表 三和國章
- 商船互友會小林氏の委任を以て代理 田口源記
- 船舶火夫同盟會代表 岩崎勝三郎
- 日本海員同盟友愛會代表者代理 醍醐資祐
- 海員協和會代表者代理 宮崎勝之
- 日本船員同志會代表 横山孫作
- 海洋勞働相互會代表 小林瀧三郎
- 商船水夫正義會代表 田口源記

二 勞働者のみならず我が日本帝國民の一日もゆるがせにすること能はざる事項なりと信じます。

爰に於てか我々創立實行委員相集り日本海員組合の創立事務に従事致しましたところ幸に多數諸賢の賛同を得て今日發會式を舉ぐることになりました。

併し乍ら此事業は前申上げます通り極めて偉大且つ困難なる事業でありますから我々實行委員は勿論海員勞働者のみにては到底其の目的を貫徹することが出来ません。

即政府の援助資本家の諒解否進んで我が日本帝國民の總ての聲援と諒解が無ければ最後の成功は不可能なりと信じますから爰に發會式に際し組合員諸君の大なる努力を希望すると共に來賓諸君の御援助と御諒解を希望してやまざる次第です。

一言以て開會の辭と致します。

次に右發會式の辭終て座長を組合員諸氏に諮り。座長に濱田國太郎氏當選す。

次に創立委員長岡崎憲氏の挨拶ありて副委員長は創立經過の概要を左の如く述べらる。

- 海員睦會代表代理 福本九平
 - 水夫同志會代表 北野勇吉
 - 機關部員同盟會代表者代理 福森庄太郎
 - 扇港海員廣愛會代表者代理 宮崎勝之
 - 日本海員交和俱樂部代表 中野文夫
 - 普通海員交友會代表代理委任 溝口傳
 - 海員自治會代表 宮崎勝之
 - 海員美濟會代表 酒井桑太郎
 - 海友協會代表代理 松元德三
 - 普通海員若松同志會 鶴野隆一
 - 長崎海員同志會 委任代理
 - 崎陽海員同志會
 - 扇港船友會代表 山下應次郎
 - 日本海員ホーム代表 中野文夫
 - 海員同友會代表 岡島雅雄
- 此二十三團體でありまして海員の一員として不肖私は出席を求められ第一日は即ち十二月三日午後一時開會致しまして一同の協議に依り濱田國太郎君を議長に不肖私は副議長の役割を申付かりまして合同に關する諸般の協議を致し親しく審議を重ねたる次第であります。